

【特別の教科 道徳】

<p>■児童の状況</p>	<p>[低学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考えて積極的に発言をする児童もいる一方、友達の意見に共感をすることができない児童もいる。 <p>[中学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値については理解しているが、日常生活での判断及び実践には結び付かない児童もいる。 <p>[高学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み、道徳的価値につながる考えを表現し、友達とお互いの考えを深め合うことができる児童もいる。発言をする児童が限られており、葛藤場面では本音を出し切れていない。
<p>■指導についての課題</p>	<p>[低学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙がまだ少なく、心情を適切に表現できていないため、言語活動を豊かにする必要がある。 <p>[中学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文の内容理解に時間をとられ、本質的な道徳的価値についてそれぞれが多角的に考えるための時間の確保が課題である。 <p>[高学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの経験や日常生活に照らし合わせて考える時間の確保が課題である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>[低学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを表す様々な言葉を掲示することで、自分の言葉で表現しきれない心情の機微にも共感できるようにする。 ・日常生活を振り返る際には、より具体的な場面を想起させることで、道徳的価値への意識付けを行う。 <p>[中学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問の仕方を工夫することで、多角的に物事を捉えられるようにする。 ・自分の経験や道徳的価値に向き合うために、考える時間とそれを表現する時間を十分に確保する。 <p>[高学年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事や日常生活上での問題など、その時の児童に合った教材を活用する。 ・課題がもてるように発問を精選し、個々の価値の深まりや自己の生き方の振り返りができるようにする。 ・考えを表現する時間を十分確保し、道徳的価値に気付かせ、より良い自分の姿を考えられるようにする。